

令和6年8月27日

各校園長 様

田島南小中一貫校  
大阪市立田島南小学校  
大阪市立田島中学校  
校長 今垣清彦

令和6年度 大阪市教育局「がんばる先生支援」グループ研究A  
文部科学省「学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」

## 公開授業・公開研修会のご案内（二次案内）

### 対話力を育てる「国語科教育」・ことばで紡ぐ「生きる教育」

### ～保護者・地域とともにはぐくむ開かれた授業づくり～

田島南小中一貫校は、令和4年4月より田島小学校・生野南小学校が統合し、田島南小学校が田島中学校敷地内に新設され、小中一貫教育を開始しました。

田島南小中一貫校の教育の特色としては〔言語力の育成〕〔性・生教育の推進〕〔キャリア教育の充実〕〔読書活動の充実〕が掲げられており、本年度は学力と自己肯定感の向上を目指して研究推進を進めています。〔言語力の育成〕では国語科を中核としつつ、他教科でも言語の運用を通じて論理的思考力をはじめとした種々の能力を育成するための道筋を明確にしていきます。また〔性・生教育の推進〕では児童・生徒にとって一番身近であり、社会問題ともいえるテーマを授業の柱とし、どの子にとっても学びとなるよう一般化をはかりながら、保護者・地域の信頼のもと、常にオープンな実践を重ねていきます。

つきましては、下記の通り、小学校と中学校の授業公開と指導講評・講演会を行います。校務何かとお忙しいとは存じますが、貴校教職員にご周知いただきますようご案内させていただきます。

#### 記

1 日 時 令和6年9月27日（金） 13時30分～17時 （受付13時00分から）  
令和6年9月28日（土） 8時50分～12時30分（受付8時40分から）

2 会 場 田島南小中一貫校（大阪市立田島南小学校・大阪市立田島中学校）  
〒544-0011 大阪市生野区田島 5-23-7 電話 06-6758-1541

#### 3 内 容

9月27日（金）

中学校（7年～9年）公開授業

- 授業提案 「生きる教育 13本の実践理念について」指導教諭 小野 太恵子 氏
- シンポジウム・講演会

【情報モラル】「思春期における情報モラル教育」（仮）

講師 兵庫県立大学

教授

竹内 和雄 氏

13:00 13:30 14:30 14:45 15:00 16:00 16:55 17:00

受付	7年～9年 公開授業 （各教室）	休憩	全体会	授業提案 （体育館）	児童・生徒とのシンポジウム 公開講演会 （竹内氏）	挨拶
----	------------------------	----	-----	---------------	---------------------------------	----

9月28日(土)

小学校(1年～6年)公開授業

○ 授業提案 「田島南小中一貫校の学力向上に向けた取り組み」指導教諭 小 野 太恵子 氏

○ 指導講評・講演会

【臨床心理】「子どもたちの生きづらさと未来を考える～非行臨床の立場から～(仮)」

国際医療福祉大学

教授 橋 本 和 明 氏

【教育学研究】 「子どもたちの安全安心な未来のために、教育現場のできること」

京都大学大学院研究科

教授 西 岡 加名恵 氏

8:40 8:50 9:20 9:30 10:15 10:25 10:55 11:55 12:25

受付	研究説明 (体育館)	休憩	1年～6年 公開授業 (各教室)	休憩	授業者 セッション (体育館)	公開講演会 橋本 和明氏	公開講演会 西岡加名恵氏	挨拶
----	---------------	----	------------------------	----	-----------------------	-----------------	-----------------	----

※7年「助産師による性教育」8年「キャリア教育」9年「赤ちゃん先生」を行っています。(1・2時間目)

#### 4. 公開授業予定

9月27日(金)

学年組	授業内容	授業者
7年1組	「脳と心と体とわたし～思春期のトラウマとアタッチメント～」	教諭 上釜 増之助・養護教諭 田中 梓
7年2組	「脳と心と体とわたし～思春期のトラウマとアタッチメント～」	教諭 和田 真昼・養護教諭 上田ひまわり
8年1組	「リアルデートDV ～支配と依存のメカニズム～」	教諭 梅原 郷花・教諭 西村 建一郎
8年2組	思春期における情報モラル教育	教諭 檜崎 祐也
9年1組	「社会の中の親子 ～子ども虐待の事例から～」	教諭 紙原 大輔
9年2組	「社会における子どもの権利」	教諭 十倉 雄介・教諭 別所 美佐子

9月28日(土)

学年組	授業内容	授業者
1年1組	【大切なことと体】プライベートゾーン	教諭 篠木 萌
1年2組	【大切なことと体】たいせつなぼく・わたし	教諭 堀江 実結・養護教諭 木田 美佐子
2年1組	【みんなむかしは赤ちゃんだった】ちようどよい「きより」	教諭 宮木 寛史 教諭 新矢 琢磨
2年2組	【みんなむかしは赤ちゃんだった】 妊婦さん・抱っこ体験	教諭 吉井 真奈
2年3組	【みんなむかしは赤ちゃんだった】「赤ちゃん」のふしぎ	教諭 下谷 美来 教諭 別所 美佐子
3年1組	【子どもの権利条約って知ってる？】 こちらお悩み相談室	教諭 高橋 七星
3年2組	【子どもの権利条約って知ってる？】 大切な権利ランキング	教諭 宮川 征大
3年3組	【子どもの権利条約って知ってる？】 守られていない権利は？	教諭 和木 龍太郎
4年1組	【10歳のハローワーク ～LSWの視点から～】 ほしい力オークション	教諭 上田 恵 教諭 廣松 秀一
4年2組	【10歳のハローワーク ～LSWの視点から～】	教諭 程岡 陸斗 教諭 和泉 大輔

	考えようみんなの凸凹	
5 年 1 組	【愛？それとも支配？～パートナーシップの視点から～】これは愛？支配？	教諭 吉村 真紗代
5 年 2 組	【愛？それとも支配？～パートナーシップの視点から～】みんなで考えるオンラインルール	教諭 新矢 琢磨
6 年 1 組	【家庭について考えよう ～結婚・子育て・親子関係～】 子育て実技体験	教諭 山田 果奈 教諭 中桐 信哉
6 年 2 組	【家庭について考えよう ～結婚・子育て・親子関係～】 心の傷の治療法	教諭 藤原 匠

## 5. 申し込み方法

・定員は 200 名（申し込み順）になります。参加日（9 月 27 日・28 日・両日）、参加者名・所属名・連絡先などを、QR コードを読み取るか、Microsoft Forms からお申込みください【締め切り 9 月 20 日（金）】

<https://forms.office.com/r/j77MY16Ljv>

6. ご不明な点につきましては、田島南小中一貫校（大阪市立田島南小学校・田島中学校）

教務主任 菊井 威・養護教諭 田中梓 までお問合せください。

学校代表メールアドレス [s1514@education.city.osaka.jp](mailto:s1514@education.city.osaka.jp)

令和 6 年度田島南小中一貫校「がんばる先生支援」 生きる教育（性・生教育） 公開授業参加申し込み



## 【講師紹介】

### 兵庫県立大学 教授 竹内 和雄 氏



公立中学校で20年間、生徒指導主事を担当。寝屋川市教委指導主事を経て2012年より現職。生徒指導を専門とし、ネット問題、いじめ、不登校等、課題を持つ子どもへの対応方法について研究している。文科省学校ネットパトロール調査研究協力者、総務省青少年インターネットWG構成員、総務省（近畿総合通信局）「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する連絡会」座長。2014年ウィーン大学客員研究員、文部科学省有識者会講座長、生徒指導提要（改訂版）執筆協力者でもある。

NHK「視点・論点」「クローズアップ現代」等の出演。著書に「小学生のうちに身につけたいすまほ・ネット基礎・基本ワーク」等、多数出版されている。

### 国際医療福祉大学 大学院 教授 橋本 和明 氏



1983年3月名古屋大学教育学部教育心理学科卒業、2006年3月 武庫川女子大学大学院臨床教育研究科臨床教育学専攻修士課程修了。（臨床 教育学修士）1983年4月 家庭裁判所調査官補に採用され、名古屋家庭裁判所に勤務。1985年～家庭裁判所調査官として、名古屋、大津、福岡、大阪、静岡、和歌山の家庭裁判所に勤務し、大阪家庭裁判所の主任家庭裁判所調査官を退職。2006年4月 花園大学社会福祉学部教授として就任。

2022年4月 国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部および同大学院医療福祉学研究科臨床心理学専攻の教授として就任。内閣府こども家庭庁「一時保護時の司法審査に関する実務者作業チーム」委員（座長）（2023年4月～現在）や内閣府こども家庭庁審議会児童虐待防止対策部会委員（2023年4月～現在）として活躍されている。また著書には、『公認心理師標準テキスト』『逆境・トラウマを乗り越える子育て技術』山下洋編『こころの科学―親子を支援する、トラウマと愛着の視点から』『臨床心理学「怒りとはなにか？―攻撃性と向き合う」第23巻第1号』など多数出版に関わっている。また犯罪心理鑑定・犯罪被害者心理鑑定・家事・家事・民事等心理鑑定などを行い、非行少年や加害親に関わる心理研究の第一人者である。

### 京都大学 大学院 教授 西岡 加名恵 氏



専門は教育方法学（カリキュラム論、教育評価論）。京都大学大学院教育学研究科修士課程修了後、英国バーミンガム大学にてPh.D. (Ed.)を取得。鳴門教育大学講師等を経て、2017年4月より同教授。日本教育方法学会常任理事、日本カリキュラム学会理事、教育目標・評価学会理事。文部科学省「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」委員（2012年～2014年）なども務める。主な著書に、単著『教科と総合に活かすポートフォリオ評価法』（図書文化、2003年）、単著『教科と総合学習のカリキュラム設計』（図書文化、2016年）、編著『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』（明治図書、2016年）、共編著『教科の「深い学び」を実現するパフォーマンス評価』（日本標準、2019年）、共編著『「逆引き設計」実践ガイドブック』（日本標準、2020年）などがある。2022年10月 『『生きる』教育』第一巻 自己肯定感を育み、自分と相手を大切にする方法を学ぶ【生野南小学校 教育実践シリーズ】（日本標準）発刊。現在4巻まで発刊されている。